

<記号の見方>

難易度(その学校の受験生にとってのレベル) A・・・標準 B・・・難しい C・・・とても難しい

要求される能力 A・・・処理能力(多量速解型学習で対応できる問題) B・・・思考力(少量熟考型学習でないと対応できない問題)

目新しさ A・・・普通 B・・・目新しい C・・・斬新

学校名 麻布 時間60分				
	分野	難易度	要求される能力	目新しさ
大問1	(1)条件整理(和と差)	A	B	A
	(2)数の性質(倍数)	A	A	A
	(3)平面図形(複合図形)	A	A	A
	(4)割合(濃度)	A	B	B
大問2	平面図形(移動と回転)	B	B	C
大問3	(1)条件整理(場合の数)	A	B	B
	(2)条件整理(場合の数)	B	B	B
大問4	(1)平面図形(折り返し)	A	B	C
	(2)平面図形(折り返し)	B	B	C

昨年度の問題との比較

レベル ↑↑ 合否に必要な得点率70%

合格最低点 2002年 115/200 → 2003年 104/200(最高点164)

コメント

問題数が大幅に減りましたが、その分、内容が濃くなりました。去年の問題は易すぎました。

大問1 難しくはありませんが、(3)以外はひとひねり加わっています。

大問2 図形の移動と回転の問題ですが、斬新な形をしています。

大問3 麻布らしい条件整理の問題です。(2)はちょっと手ごわいです。

大問4 難問ではありませんが、斬新な問題です。去年の栄光の折り返しの問題では、
 〈この問題の答えを求めるのに、問題用紙や解答用紙を折ってはいけません。〉
 というただし書きがありました。この問題にはそれがありません。

合否を分けた1題 大問3